

業務達成状況報告書

業務達成状況報告書

1. 事業名 (対象国名)					ティカル国立公園への観光回廊における人材育成と組織化支援プロジェクト (グアテマラ国)				
2. 事業実施団体名					国立大学法人 金沢大学				
3. 事業実施期間					2017年6月～2022年6月				
プロジェクト要約 (Project Summary)		指標 (Indicators)		基準値 (Baseline Values for Indicators)		目標値 (Target Values for Indicators)		達成状況 (Progress)	
上位目標 (Overall Goal) 世界複合遺産「ティカル国立公園」への観光回廊コミュニティの住民が、世界遺産についての意識を改革し、その活用により経済状況や生活環境が向上することによって、ティカル国立公園の文化資源と自然資源が持続可能な形で保護・活用される。									
プロジェクト目標 (Project Purpose) ティカル国立公園の近隣住民が世界遺産を活用した生活向上や生物文化多様性に配慮した環境維持のための活動を行うと同時に、連携する諸機関と協力しながらその活動を自主的に継続してゆける体制を形成する。		1 活動実施体制と活動の持続性を確保できる住民のリーダーを育成する。 2 コミュニティ住民が研修で身につけた技能などを活用して経済活動化するグループが組織化される。 3 コミュニティ住民が生物文化多様性に関する理解を高め、世界遺産と周辺環境の保護につながる活動に参加する。				1 6名以上の住民リーダーが育成されること。 2 経済活動化するグループの組織化支援によって、6グループ以上が継続して活動を行う状態となる。 3 コミュニティ住民の15%が世界遺産と周辺環境の保護につながる活動に参加する。		【プロジェクト全体の状況】 新型コロナウイルス感染症による影響を受け、研修をオンラインに移行し、プロジェクト目標達成に向けた活動を実施している。弊団体は、CP 機関であるティカル国立公園やフローレス市役所、グアテマラ観光庁を含む各関係機関と良好な関係を築いており連携して活動を行っている。	

P
D
M
よ
り
転
記

<p>アウトプット (Output)</p> <p>1. 各種研修を通してコミュニティ住民の人材育成を行い、住民グループを率いる人材が養成される。</p> <p>2. 連携機関とのワーキンググループ形成とジェンダーに配慮した経済活動グループの組織化が促進される。</p> <p>3. 文化遺産・自然遺産への知識が習得され、文化遺産・生態系保全活動が実施される。</p>	<p>各種研修の実施状況と養成される住民リーダー</p> <p>連携機関とのワーキンググループの活動状況と組織化された経済活動グループの状況</p> <p>文化遺産・生態系保全について知識を習得した住民の数</p>	<p>住民グループを率いて、活動を継続して行けるようなリーダーは存在しない。</p> <p>連携機関とのワーキンググループは活動しておらず、経済活動グループは存在しないか非常に脆弱な状態である。</p> <p>文化遺産・生態系保全について関心のある住民は少ない。</p>	<p>1-1. 本邦研修を合計15名が受講し修了する(5年で3回実施)。 1-2. 第三国で実施するセミナーに合計30名が参加する(5年で2回実施)。 1-3. 住民グループを率いることのできるリーダーを活動終了までに6名以上養成する。 1-4. 生活向上のための技術習得研修に毎年80名以上参加する。</p> <p>2-1. 連携機関とのワーキンググループが形成される。 2-2. 観光回廊のコミュニティに女性を中心として組織化された経済活動グループ(全体で6グループ以上)に事業化に関わる支援を行う。 3. 資源としての生物文化多様性の知識習得研修および生態系保全活動に成人、児童・生徒合わせて年250人以上参加する。</p>	<p>アウトプット1 【オンライン研修の企画と実施】</p> <p>オンライン研修の準備・実施の中で、研修参加者の中から選ぶための観察・評価プロセスを継続した。 新型コロナウイルスの影響から現地に人を派遣し住民を集める形式での活動が難しいことから、新しい活動の形を作るために現地でWeb会議形式での研修を企画することになった。 第1回目はパイロットプログラムと考えて、Web会議形式でのリモート研修を現地で実施する上での問題点を見つけることも目的の一つとした。3月まで業務従事者としてプロジェクトに参加して現地の事情を熟知しているアレクサンデル・ウリサル氏に研修講師を依頼した。 新型コロナウイルスの蔓延という異常事態の中、集合しないで研修を実施するという試みを行い4名が修了まで到達したことは一定の成果と考えられ、また今後の研修実施に際しての知見を得ることもできた。 第2回目は、バイオセキュリティの知識とプロトコルへの対応に関する研修を、INTECAP(グアテマラ職業訓練校)と連携して実施することになった。新型コロナウイルス感染症のパンデミックはプロジェクト実施対象地域のコミュニティにも影響を与えており、コミュニティに多い中小企業においても営業を行うためにはバイオセキュリティの知識とプロトコルへの対応が要求されることから計画された。</p> <p>アウトプット2 【連携機関とのワーキンググループ】</p> <p>本邦研修参加者の連携ネットワーク構築を支援した。 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、それぞれの地域の状況や所属する機関の情報を確認し、今後の活動について話し合いを行うためプロジェクト関係者による会議が行われた。会議では、2019年度本邦研修参加者も招待され、各地域や連携機関の現状について報告され、情報交換が行われた。 会議では、INTECAP(グアテマラ職業訓練校)と連携してオンライン研修を行うことも決定された。</p>
--	---	---	---	--

モニタリング報告

- ・ 当該業務期間中に起きた問題点や計画通りにいかなかった場合の阻害要因

今期の活動期間と外的要因

今新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、プロジェクトメンバーが現地で活動を行うことや、住民を集める形式での活動をおこなうことが困難な状況に陥った。

・ 同じく計画通りに行かなかった場合のマネジメント方法

新型コロナウイルス感染症への対応

現在は現地のコミュニティでは通常の活動を実施できる状況ではないが、活動再開時に向けて準備すべきことを整理し、また、現地の情報を収集する作業を継続している。7月からはオンラインでの研修を実施し、現地の状況と合わせて今後も継続する予定である。

・ 事業により目指していた変化の有無

オンラインでの活動が中心となり、現地での活動を行うことが難しくなった状況の中でも、本邦研修参加者と連携したオンライン研修によりプロジェクト目標である生活向上のため活動が行われている。

提案自治体コメント（パートナー型、支援型の場合には本欄不要）

自治体が指定した団体が実際の事業を実施した場合には、本欄には事業や事業実施団体への自治体の関与等について、自治体の担当者が記入してください。

JICA コメント（在外事務所）